

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラスさんだ教室			
○保護者評価実施期間	令和7年10月8日 ~			令和7年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58名	(回答者数)	46名
○従業者評価実施期間	令和7年10月7日 ~			令和7年10月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月1日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者それぞれの特性を考慮し、トレーニング内容が固定しないよう職員それぞれが工夫し、チームで支援内容を検討している。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズ等をふまえて、新しく外出や調理イベントを実施した。 コミュニケーションスキルを軸とした、テーマに沿った活動プログラムやイベント活動等を取り入れ、活動内容が固定化しないように工夫している。 来所する利用者に応じて、5領域に沿った活動内容を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> インクルージョンの視点に立ち、地域交流や将来の地域生活の充実に向けたプログラムや活動を考案し実施する。 保護者や利用者のニーズを把握し、意見を取り入れた活動を企画する。
2	チームで支援を行うことを各職員の共通意識の基盤にして、コミュニケーションを取っている。	毎日の打ち合わせ以外にも定期的なミーティング、ケース検討会、研修や勉強会を実施している。	新入職者向けに利用者の特性理解を深めるためのOJTを充実させながら、より充実した支援の体制が整うよう様々な方法でコミュニケーションを図りたい。
3	毎日の活動後に時間を設け、職員と利用者が個別支援計画に基づいた取り組みを振り返ることで、利用者自身も自らの強みを見つけ、目標をもって過ごすことができる。	毎日の活動終了後に振り返りの時間を設け、利用者と職員が一対一で目標の評価をしている。	振り返りの時間に余裕をもたせ、日常生活の悩みや困り事の相談の時間をより充実させたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けの交流イベントやペアレントトレーニング等を実施しておらず、機会が提供できていない。	これまで、保護者からの要望が少なく、またご要望の多いものから対応していたため。	研修やイベントの機会を計画をしていきたい。
2	子どもを含む地域住民との交流機会が少ない。	福祉施設等とは連携を試み、外出イベント等の実施にご協力いただいているが、放課後児童クラブなどとの連携については要望が少なく、連携の体制を準備できていないため。	利用者、保護者のニーズをふまえて、交流の機会を検討していきたい。
3	就学前の幼稚園・保育所等や、就労・進学の際の関係機関との連携が少ない。	就学前の機関については、入学と同時の利用開始でない方が多いため。高校卒業については、保護者や相談支援事業所からの要望があった場合にのみ対応していたため。	利用開始時や高校卒業時に、保護者の方に連携が可能であることを周知する。